



うましさと
美里吾平の

「イクヒカリ」

8月、吾平町内の水田が黄金に輝きました。早期米「イクヒカリ」の収穫の時期です。イクヒカリは、JA肝付吾平町の主導のもと、吾平町内全域の水田で平成22年度から栽培されるようになり、今では作付面積約200ha、生産量約1,000tを誇っています。吾平の清水と温暖な気候を生かして作られるイクヒカリ。食

今年のイクヒカリは、天候にも恵まれ、病害虫や台風による影響もなく順調に生育。8月2日にJA肝付吾平町で行われた出荷式を皮切りに、県内外に約450tが出荷されている。



A コープ肝付あいら店
(吾平町麓 3338-3)
Tel 0994-58-8711



味の良さもさることながら、稲穂が倒れにくく、たくさん穂がつくといった特徴があります。炊きたては、もっちり、ふつくとした食感。またイクヒカリは冷めても粘りが強く、おにぎりやお弁当にも最適です。現在では、関東のスーパーや県内の飲食店・学校などへ出荷されるほか、市のふるさと納税の返礼品にも採用されるなど、市内外から好評を得ています。「日々米づくりに励み、心を込めて丹念に育てたイクヒカリを、皆さんにも喜んで食べてもらいたいです」と語るのは、生産者の福元康光さん。一足早く訪れた秋の実りに感謝して、美味しいイクヒカリを「いただきます！」

編集後記

十人の元気な高齢者を取材しました。体験談や人生観、生活、趣味は様々ですが、それぞれのエピソードはもちろん、皆さんの表情や想いに触れ、取材に何うたびに目頭が熱くなりました。人生の先輩に学ぶことはまだまだたくさんあります。(前田)

五月にタイで再会を誓い、早くも鹿屋を訪れたタイ代表。タイで絶大な人気を誇る代表選手らは、市内での色々な場面に写真に収め、それぞれのSNSで発信していました。タイで「Kanoya」が有名になるといいですね。(田嶋)

夜間でも必要とあれば出動する消防団。市内には47の分団があり、約980人の分団員が活動しています。災害時には地域における消防防災のリーダーとして活躍する、非常に頼もしい存在です。(上古殿)

お便り&メッセージ

ご協力ありがとうございました。

ご応募の際にご記入いただきました個人情報(抽選・賞品(賞品引換券)の発送・アンケート統計以外の目的で使用することはありません。